

中望遠レンズで捕らえた百武彗星 (1996 B2)

撮影日 : 1996/03/22
撮影時間 : 24:18-24:25 (7分)
カメラ : PENTAX MX
フィルム : FUJISUPER G800
レンズ : PENTAX 120mm F2.8 (3.3)
赤道儀 : 高橋製作所 P-2S 自動ガイド
撮影 : 片山 徹 (和歌山県南部川村にて)

下の画像はカラー画像の「青チャンネル」を取り出し白黒反転して尾のディテールを強調してあります。矢印に挟まれた部分を良く見ると、彗星の頭部から細かい針のように何本も尾が出ているのがわかります。そして、その1本が太い枝の様に曲がって伸びています。

1996年3月22日 金曜日 会社を終えて車で堺から和歌山の南部川の撮影ポイントに向かいました。途中の車窓からも百武彗星が昇ってくるのがわかる位、明るく、到着するとワクワクしながら機材を組み立てて、まず35mmカメラ120mm中望遠レンズで百武彗星を撮影したが上の画像です。彗星は丁度「うしかい座」の1等星アルクトゥルス (α Boo) の近くにあり、枝の様に分れたイオンテイルと尾の中の濃淡やコブ (核から剥がれた氷塊?) のような構造が特徴的です。

